

ポイント

金型製作から製品製造まで一貫通貫の提案力と高い技術力で、自動車から医療まで広い分野で顧客とともに発展

- 様々な設備群と規格を満たす製造環境により、一貫通貫の生産体制と品質保証を実現し、あらゆるニーズに対応
- 超低粘度液状樹脂の金型成形を実現するとともに、成形時に金型温度等の最適化を図り成形システムを構築
- 複合的に絡む開発要素に、デザインレビューを通じて柔軟に対応する開発体制。多方面の分野から受注につなげる

企業基本情報

所在地	奈良県五條市住川町 1373 番地 テクノパーク・なら工業団地
電話 / FAX	0747-25-1140/0747-25-1141
URL	http://www.fatec.co.jp/index.html
代表者	代表取締役 福井 一史
設立	2002 年
資本金	8,800 万円
従業員数	75 人



会社概要

金型設計、超精密部品加工、超精密測定、金型仕上げ・組立、テスト成形・評価、量産成形。分野は、自動車部品関連、医療機器・器材関係、電子機器関連、電池関連、デジタルカメラ関連、水制御商品関連、金型パーツ関連。

幅広い市場分野を受けており、同社が保有する設備群により一貫通貫体制を構築している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

「金型の設計から製品生産まで一貫通貫」。品質保証体制も構築

「金型の設計から製品生産まで一貫通貫」で実施できることが強み。金属部品加工に必要な主要設備群、真空熱処理炉を完備するとともに、あらゆる形状に即応した測定機器を保有し、品質保証体制を構築した中で、付加価値の向上に資する取組を行っている。

医療用関連分野では、高度管理医療機器（クラスⅣ）用精密部品加工、量産成形現場では品質保証のため清浄度規格クラス 10000 のクリーン環境を実現。また、自動車部品の分野では自動車部品サプライヤー向けの標準規格 TS16949 を自主運用するなど、品質保証に力をいれて差別化を図っている。



クリーンルーム内全景

「超低粘度液状樹脂製品」を成形する金型成形技術

金型表面精度に依存する流動性を解明。金型隙間への液漏れを定量化し超低粘度液状樹脂でも金型による成形を可能とした。成形時に金型温度、型締時間、型締力の最適化を図り、成形システムの構築につなげた。

樹脂漏れの問題を防ぐため研削機等保有する加工機を駆使し、金型の輪郭加工精度、加工面精度を、超合金材料でも実現できる加工技術を確立。

成形製品は、表面粗度が細密でありガラスの代替品としても十分対応可能。極薄で透明度の高いシャーレ（薄さ 0.9mm）の受注につながった。



超低粘度樹脂による特殊レンズ

分野にかかわらず顧客ニーズに応える柔軟な開発体制

金型の設計から製品生産まで一貫通貫で取り組む中、担当者間でのデザインレビューを経て設計から製造まで行い、発注者の使い勝手等の配慮やコスト削減などにも柔軟に対応。取引先は銀行口座数で 150 社程度あるが売上 2 割以上占める顧客はなく多方面から受注し、持続的な収益確保に努める。地道な営業活動を通じて従来取引のあった分野にとらわれず新たな分野への展開を図る。



超薄型シャーレ